



CLUB OFFICE
京都YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2020

12

Bulletin
2020.12.1発行
第35巻第6号通巻420号

主 題
国際会長 VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP
アジア会長 変化をもたらそう 奮い立たせよう
西日本区理事 Let's do it now! 2022に向け誇りを持って All is well.
京都部部长 人生は一度きり 出会いから全てが始まる

聖 句
見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。
(この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。)
マタイによる福音書1章23~24節(クリスマスの預言)



「名古屋YMCAと私の2020年」

名古屋YMCA理事長 川本 龍資

クリスマスおめでとうございます。今年も残すところ1か月となりました。この時期に敬愛する京都プリンスワイズメンズクラブの皆様がプリテンを通じてお目にかかる機会をお与えくださり感謝します。

去年の今頃、来年は日本中が「お・も・て・な・し」の精神で世界中から集まる外国人の方々をお迎えし、いわば「お祭り騒ぎモード」の1年になるのだらうと予測したのは私だけではないと思います。しかし、新型コロナウイルスの出現でその予測が実現しなかったどころか、その猛威で世界中が縮んでしまい、今日を迎えています。

「ヒトは万物の霊長を自称し、あらゆる物を制御できるつもりになっていた。しかし、ウイルスというアメーバ以前のものすら制御できないで、家に閉じこもるしかないのが現実である」という事。又、自然災害や原発事故など、制御不能な出来事が起こり得る事実に対し、もっと目を開かなくてはいけないと改めて思わされている1年です。

名古屋YMCAは、緊急事態宣言時には行政指導の下、幼稚園の休園など余儀なくされましたが、エッセンシャルワーカー(医療、介護従事者)や社会的弱者(一人親で働かざるを得ない人達)の子女が多く集まる保育園やアフタースクール事業を、最大限の感染対策を施し継続いたしました。緊急事態宣言解除後は徐々に通常のクラスも再開し、毎日各拠点で子供たちの学び場、遊び場として「安心して預けられる場」を提供できている事を嬉しく思っています。但し、宿泊を伴う夏キャンプやスキーキャンプは断念。日本語学校も入学予定者が入国できず、2年目学生のクラスの実施に留まっている等、財政面での苦しさは覚悟せざるを得ません。

会員活動プログラムも、総主事の「できることはやろう！」の掛け声で、特に屋外プログラム(チャリティラン、チャリティゴルフなど)はリアルで開催し、スタッフ・ユースリーダー・ボランティアメンバー・ワイズメンがワンチームとなり、笑顔で楽しみながら、貧困や障がい弱者を支援する資金作りができました。その他、WEB会議システムを利用した名古屋YMCA大会やYM・YW合同祈祷集会など、リモート併用で「はなれていてもつながっている」メンバーシップの交流を確認する事が出来ました。

ニューノーマルが叫ばれる昨今、常に利他の立場で「他者を思う力」を養いつつ成長し、笑顔で子供たちと接しているスタッフの一人ひとりの姿に励ましを受け、生きる力を与えられていることに、心から感謝し、YMCAに連なっていることを喜んでいきます。来年も皆様にとって良き年となりますよう、お祈り申し上げます。

※11月のチャリティゴルフには、プリンスクラブはじめ、多くの京都部・びわこ部のワイズメンにご参加ご協力賜り、本当に有難うございました。この場をお借りし、御礼申し上げます。

会長主題

より強い絆で

仲間って本当に
いいものですね

会 長 澤田 哲平
副会長 三村 良行
飯尾 豊
書 記 宇高 史昭
会 計 岸 裕也
ネット会長 澤田真紀子

提携月間

EMC-MemberShip

11月 例会案内

第一第二例会

京都府モニタモニタリング指標に従い、例会日の7日前が「警戒基準」以上になれば、京都YMCAとZoomによるハイブリッドにて開催。

例会出席

11月第一	一名
11月第二	一名
在籍者数	17名
メーキャップ	一名
出席率	—%

BFポイント

切 手	0pt
現 金	0円
累 計	0円

ファンド

じゃがいも	227,500円
	0円

累 計	364,750円
-----	----------

ニコニコ

11月第一例会	0円
11月第二例会	0円
累 計	9,000円

11月第一例会 (第三回有志の会 リアル会議・Zoom 併催)

2020/11/4
宇高 史昭

新型コロナ感染予防のため、京都YMCA301号室とZoomを利用したハイブリット形式で例会の代わりに「第三回有志の会」が開催されました。今回も直前の会場変更にも関わらず、「三密」が防げる部屋を確保していただいた遠藤担当主事に感謝します。

当日、会場参加は、飯尾ワイズ、今西ワイズ(クラブ外では内緒)、遠藤担当主事、岡西ワイズ、榎木ワイズ、西村ワイズ、野村ワイズ、廣井ワイズ、三村ワイズ、宇高の10名、ZOOMから小野ワイズ、蒔田ワイズ、森ワイズの3名が参加。8月以後、プリンスホテルでの例会が中断して以来、久しぶりに野村ワイズが元気な姿を見せてくださって、メンバー一同大歓迎となりました。

また、開会前には、今期からプリンスホテルの担当としてお世話頂いている本郷さんが、例会中断の間にホテルの名前が「ザ・プリンス 京都宝ヶ池」に変わった報告とクリスマスケーキ・おせち料理の案内ちらしなども携えて、2ヶ月ぶりにYMCAへ立ち寄ってくださり、ホテル例会の雰囲気を出しました。

欠席の澤田会長に替わって飯尾副会長の挨拶で開会、その後役員会/委員会報告、YMCAからの連絡の後、今回のメインプログラム「プリンスクラブの会則見直しについて」話し合いました。飯尾次期会長が心配される35周年に向けたクラブの活動を考える機会として提案され、出席メンバーから時代背景も変わり会則の用語に違和感を感じる箇所、広義会員も会員種類に追加する、入会を勧めたスポンサーの承諾を退会手続きに加えるなどの意見が寄せられました。さらに、月2回開催と決められた例会については、仕事との調整から、回数、例会への出席動機の変化など各々の想いを聞く有意義な集まりとなりました。

私は前半Zoom接続で手間取ってしまい話し合いに加われませんでした。

最後に、会長から、京都府モニタリング指標に基づいた基準は動かしたくない、みんなが来たいと思う例会にしたい、目標も明らかにしたい、屋外開催も含めて考えると、改めて意思表示がありました。今後も会長の思いに添えるように、皆で協力し、話をしていきたいと思えます。

リトセンオータムフェスタ

2020/11/15
西村 博

11月15日リトセンオータムフェスタが開催された。コロナの影響が続く中での開催で、様々に配慮をしつつの開催運営となった。入り口受付での検温、検温済み確認の腕輪の装着、手指の消毒の励行等会場内での人的安全対策が徹底された。各出店でもビニールシートにより販売者とお客様との間に幕を張るなどの安全対策もこうじられた。出店クラブではマスク着用は勿論、消毒液の常備や手袋の装着で清潔を心掛けるよう指示があった。

我がクラブも振替例会として参加予定であったが叶わず、有志の会として参加可能なメンバーで集まり善哉の提供をする事となった。メンバーの他、岡西・飯尾・斉藤の各メネットも参加下さり美味しい善哉づくりに協力していただいた。早朝から準備に当たって頂き美味しい善哉を提供することが出来た。

各クラブの出店規模も縮小され、出店場所も密を避けて配置された。その結果、我がクラブは炊事場前での出店となり何時もの場所からは遠く離れていたため、集客に不安があったが、心配をよそに二時間余りで完売となった。少々肌寒い気候のお蔭もあって温かい善哉が受けたのかもしれない。

例年のようにうどん・餃子・ピザやみたらし団子・わらび餅などおなじみの味も出店され、それなりににぎやかに参加者が楽しめるフェスタとなったように思う。子ども達に向けてのスタンプラリーも催され元気に走り回る子ども達をみることもできた。

開催に向け多くの方々がコロナ対策に心を砕き配慮をされたことが実を結んだおかげと感謝している。

メンバーと共に善哉をつくり販売をする時間が持ててやはり顔を合わせて話し合ったりすることの楽しさを再確認した。一日も早くコロナの影響が終息し、以前のように皆で例会に集えるようになることを願っている。



第一回35周年記念事業委員会が、五条御前の住宅展示場内積水ハウス非公開邸宅で、今西委員長をはじめ西村、岡西、三村、蒔田、岸(敬称略)と私、7人の参加で行われました。

会場が、リラックスして会話の出来るとても素敵な場所だったこともあって、柔らかく頭での意見交換ができ、35周年以降のプリンスクラブが進む方向を見つけた上で、それをテーマとした記念事業にしようということに共有することが出来た様に思います。

その我々が進む方向とは、●「楽しくなければ集えない」、●僕の言葉で言うと「YMCAスピリットを啓蒙しながら脱YMCAを」という事になるのか、●YMCAに代わって何か「子供たちのために」という事業をやろう。

出た意見を聞いていて、それらを実現するには、現状の枠を超えたプリンスクラブのあり方(運営方法)等も柔らかく頭で考え直す必要があるのかと思った。

クラブへの想い (毎月連載)

廣井 武司



《 ワイズとともに歩いた39年を振り返る 》

1981年、京都パレスクラブに入会してまもなくワイズメンとして40年を迎えようとしています。入会をして間もなく京都めいぶる、京都キャピタル2クラブ同時チャーターという一大事業を経験することになり、右も左もわからない新入りである私にとって準備の会議に出てもチンプンカンプン。そんな中で私にも事業の中心でリーダーシップを発揮されている大野ワイズのお手伝いという役目がまわってきました。

式典当日、私は大野ワイズの後ろでついたり離れたり、別にこれといった仕事もなく、プログラムの中心で行動されている姿を追いかけていました。入会前から大野ワイズの魅力にひかれていたのですがこの日の動きは驚きの連続でした。お客様を大切にす迎の心、決して手を抜かない的確な運び、それでいて笑顔でこの会を楽しんでおられる姿、すべて私にとって「すごい」の連続でした。完璧な事前準備、何度となく繰り返されたリハーサルに裏打ちされた式典となりました。この何もお手伝いできなかった日から

ワイズに目標が出来たかもしれません。大野ワイズとは家族ぐるみで交流したり、仕事のお付き合いも深めてゆきました。お互いにワイズメンだから丁寧ないい仕事をしようと約束を交わして行きました。その姿は今日までやってこれたワイズ生活の礎になっています。

前期の役員会で西日本区よりワイズに貢献のあったメンバーの推薦依頼があり、誰かおられませんかと報告が。間髪入れず「うちのクラブにそんなやつおらへんで」と声が出て瞬殺。そのとき感じました、いままでパレス、プリンスと歩んできた足跡はどこにもその跡を残せていないことを。いまさら「反省」はもう遅いですね。

今年、後期高齢者の仲間入りをしました。でも私はプリンスクラブが好きです。早くコロナから脱却して、以前のように楽しくワイズライフをと願っています。

北の国から 今日は

札幌北クラブ 森本 武



私を知る人は少ないと思いますので皆様にご挨拶申し上げます。性は森本名は武、誕生1943年4月、大阪商人の家に生まれ育ち、大阪あきんどに憧れていました。

私とYMCA関係は少年時代からです。今から60数年前大阪YMCAあべの橋ランチ入会しその後青少年ボランティアリーダーになり色々教えて頂きました。

其の時初めてキリスト教と出会い、聖書、讃美歌を知りましたが、それ以前はクリスマス、祝会等出会いは勿論有りましたが自ら学ぶ事は有りませんでした。教会を訪ねることになり10年後洗礼を受けました。

リーダー時代1964年大阪YMCAとサフランシスコYMCA青少年交換プログラムに参加しカナダ、シアトル、サフランシスコ、ハワイ訪問し私自身大きな転換期有りました。その時のメンバーの中に故岩越、石原さんの娘さんたちと一緒にいました。Y'sを紹介して頂いたのは石原さんでした。1970年大阪サウスワイズメンズクラブ入会し活動してまいりました。多くの日本区大会、国際大会も参加しました。京都での思い出は森田理事の時役職として又、京都国際大会が思い出されます。第二の人生を外国にと思いアメリカ、ヨーロッパ、アジアと旅行致しましたアメリカのスコーバレー(Lake Tahoe)が気に入りまして同じ年に夏、冬、行生活環境を見てここなら住めるアパート、食べるもの私たちに合う物でした。

が北海道旅行は度々してましてドライブ中標識にニセコ60kmとありましたので行部へ解きましたらたまたま別荘地に入り看板を家内が見つけ管理事務所に入り話を聞き家内が気に入り仮契約をして帰りその後購入致しました。

東山荘チャリティーゴルフに参加して

京都エイブルクラブ
上澤 正廣

2020年11月10日(火曜日)第6回東山荘チャリティーゴルフ大会が・富士カントリークラブで33名が参加して開催されました。京都から岡西Ysと二人で参加してきました。前日15:06分発の新幹線ひかりで三島駅へ、17:30分三島駅に到着、そこで長津徹Ys(東京サンライズクラブ)と合流、泉Ys(東京サンライズクラブ)に車で迎えに来ていただき、沼津港近くの魚河岸「丸天」さんで、渡邊実帆さん(元沼津クラブ)、杉谷美砂Ys(沼津クラブ)と合流、新鮮な魚介類で小宴会となりました。その後泉Ysの車で東山荘へ送っていただきチェックイン、入浴を済ませ、前泊をされている、岡田氏、中川氏、儀賀氏との6名での懇親会、そこに4月より新しく就任されたら森田義彦所長が来られYMCA談義。

翌朝は7時朝食、所長のお車でゴルフ場迄(10分)送っていただき、受付を済ませ、INの一番スタート(8:06)ティグランド、快晴の富士山をバックに写真撮影メンバーは(長津Ys・杉谷Ys・岡西Ys・上澤)の4人でのラウンドでした。私も3年間続けて参加させていただいております。

今年はコロナウイルスの関係で蜜を避けるために食堂の椅子の間隔を大きくされ、マスク、手洗い消毒など配慮されていました。それで今大会はハーフコンペとして順位が決められました。ラウンドが終わり逐次順位賞品を頂き散会となりました。

いったん東山荘に戻り休息、4時に所長に紹介して頂いたホテルのお風呂に案内して頂きホテルの露天風呂にゆったりつかり富士山を眺め沈みゆく夕陽に感動をいただきました。その帰りに鰻屋・神田「きくかわ」で夕食、疲れを癒す時となりました。東山荘での連泊でした。成績はあえて省きます。

翌日は泉さんのお世話で東富士カントリークラブでのゴルフを楽しみました。プレー終了後、渡邊実帆さんの車で三島駅まで送って頂き帰路となりました。2泊3日の交流ゴルフ、天候にも恵まれ、新しい人との出会いもあり思い出に残る旅でした。ワイズメンであればこそだと思います。



名古屋YMCAチャリティーゴルフに参加して

京都プリンスクラブ
岡西 博司

11月19日(木)三重の鈴鹿カントリークラブにて開催されました。今までの名古屋YMCAのチャリティーゴルフには、前日より乗り込んで、名古屋の主である川本さんに無理を言って宿泊所を取って頂き、前夜祭をして、当日のゴルフに乗り込んだものでしたが、今回は鈴鹿と言う事なので、早朝から車で出かけました。遅れては大変なので、2時間以上前に出発しましたが、一時間半もかからない内に着いてしまいました。

約80名程のメンバーが集まり、皆さんからのチャリティーは、名古屋YMCAの企画しておられる、貧困の為キャンプに参加出来ない子供たちの費用に充当されています。なおかつ、参加者への景品は全て東日本大震災で被害にあわれた東北地方の物産を仙台YMCAを通じて購入されており、そちらの方面にも応援されています。そんな主旨を知った僕達は、毎年参加しているのです。今回は、トップスクラブから8名、キャピタルクラブから4名、エイブルクラブから3名と僕で、計16名が京都から参加。びわこ部から8名が参加。勿論、仙台YMCAの村井総主事も参加されています。

当日は、9月のような陽気に恵まれ、本当に素敵な一日を過ごすことが出来ました。僕はエイブルクラブの若手である山根君と関谷君と先日一緒に東山荘に行った上澤さんとのラウンドでした。さすがに若手は良く飛ばします。ただ方向が少し・・・

ゴルフも楽しいのですが、それ以上に多くの名古屋のワイズメンや、YMCAに連なる人達との交流が楽しみで、これこそがワイズの良さではないかと改めて思うのです。又、来年も1人でも多くのメンバーと参加出来れば嬉しいと思います。

「大盛況のなか、リスク管理の課題も」ーリトセン・第20回オートムフェスタ報告ー

11月15日、気持ちのよい秋晴れに恵まれたリトリートセンターで、第20回オートムフェスタが開催され、約300人が集いました。プリンスクラブ有志の皆さまには、例会もままならないなかにもかかわらず、ぜんざいのお店を出していただき、心よりありがとうございました。

今年はコロナ禍が終息しないなかでの開催ということもあり、9月末の開催決定当初から規模の自然縮小を見込み、かつコロナ感染症予防対策を前提に企画を練りました。それは①来場者への健康管理徹底のお願い、②来場者の検温チェック、③手洗いと手指消毒徹底のお願い、④食べ物出店の敷地内分散化、⑤テーブルに着席制限とビニールカーテンやアクリル衝立を設ける、などでした。さらにはステージライブや綱引き・玉入れといった人が集中するアトラクションの代わりに、スタンプラリーやフォトロゲイニングなど、敷地内を家族単位で広く移動するようなアトラクションをとり入れました。これにより、グループが分散してそれぞれソーシャルディスタンスを確保しつつ、お店とステージ周辺だけでは発見できないリトセンの自然の魅力にも幅広くふれていただけたのでは、と思います。好天に恵まれたこともあり、グリーンチャペルやメタセコイア広場などのいろんな場所で思い思いに食べたり寛いだり、子どもたちを遊ばせたりされているお客さんの姿が見られたのが、今年の特徴といえました。

誤算は、コロナ警戒があるため200人ぐらいと見込んでいた来場者数が、300人を超えたことでした。野外イベントに快晴が重なり、ほぼいないと踏んでいて当日券入場者が100人近かったのです。人気の天ぷらうどんとピザの店が割と接近しており、そことトイレが近かったことでその周辺は屋外とはいえ、かなり密な状況でした。

あの広い駐車場があふれたのは、わたし個人に限って言えば初めての経験でした。皆さんそれだけ「お出かけの我慢」が限界に来ていたタイミングだったのかと思いますし、それに応えたという開催の意義はあったといえます。が、コロナ禍におけるイベント開催のリスク管理という面では、入場者そのものの制限などに課題も残った経験でした。全く同じ条件下での開催は二度となかろうと思われそうですが、ここでの経験は記憶と記録に残し未来の参考に供したく考えています。以上感謝をもって、かつ反省とともに報告いたします。



1. インターナショナルチャリティーラン

心身に障がいのある子どもたちのためのチャリティープログラムです。今年は「バーチャルラン」！みんなで走って歩いた距離をつなげて東海道五十三次(493km)走破をめざします。

日程:2021年1月16日(土)~31日(日)お好きなコースで、どなたでもご参加いただけます。

申込:こちらの専用QRコードからアクセスして必要事項を入力してください。

申込期限は2021年1月6日(水)



2. スキーキャンプ・ウインター&スプリングプログラム募集(スキー、雪あそび、体操教室、スイミング、アフタースクール)

各種プログラムを用意しています。1月までのスキーキャンプはGoToトラベル適用です。ぜひお申し込みください。

お申込み: 予約専用サイトe-YMCA

お問合せ: ウェルネスセンター(TEL)075-255-4709



11月度 役員会報告

報告事項

- 12月第一例会は、特別警戒基準となったので、Zoomによる例会とする。
- じゃがいもの購入代金は、12月第二例会で集金する。
- そばファン্ডは、12月に入ってからアナウンスします。

承認された事項

- クリスマス例会を通常例会とする

12月 スケジュール

- 2日(水) 第一例会
19:30 Zoom例会
- 19日(土) 第二例会
19:00 グランドプリンスホテル
- 23日(水) 役員会
19:30 オンライン

12月 Happy Birthday

15日 齋藤 謙治

編集後記

コロナの第3波がやってきました。大変です。今まで以上に大変な事になっていますね。身近な所にコロナが来た時、どう対応するのか。考えておかねば、ならないですね。